

「北海道の道路史、インフラ整備のあり方」

「講師プロフィール・講演概要」

第Ⅰ部	「北海道の道路史」 ～地理情報システムで辿る 北海道の道路史～
講演1：「地理情報システムでみる北海道道路史物語」 ～江戸時代の交通ネットワーク形成過程を中心に～	
	<p style="text-align: center;">高松 泰 (タカマツ ヤスシ)</p> <p>1954年、札幌生まれ。1977年、北海道大学工学部土木工学科卒業、北海道開発庁入庁(帯広開発建設部広尾道路改良事業所に配属)。2002年北海道開発局道路計画課長、2004年国土交通省北海道局地政課長、2006年国土交通省北海道局参事官、2008年国土交通省大臣官房審議官、2010年北海道開発局長、2012年国土交通省北海道局長、2013年国土交通省退職。2014年北海道大学公共政策大学院特任教授、2017年同客員教授(～2025年迄)、2015年～ツール・ド・北海道協会常務理事。</p>
<p>講演の概要： 上野正人氏著『昭和までの北海道道路史物語』は、北海道道路史を通史として体系的に描いた貴重な著作である。同書をもとに、地理情報システムを利用して地形モデルを作成して可視化を試みた。さらに、江戸期古地図をもとに、運上屋・会所などの当時の拠点と陸路・海路・水路を重ねた拠点連絡モデル(ネットワークモデル)を試作した。北海道の交通ネットワーク形成について、同書からエピソードを紹介し、特に黎明期の交通ネットワーク形成過程について考察する。</p>	

第Ⅱ部	「住み続けられる国土と北海道のインフラ整備のあり方 (Ⅱ)」
講演2：「れからのインフラ整備のあり方」 ～道路整備を対象として～	
	<p style="text-align: center;">田村 亨 氏 (タムラ トオル)</p> <p>1955年、札幌生まれ。北海道大学大学院修了(工学博士)。室蘭工業大学教授、北海道大学教授を経て、2023年3月まで北海商科大学教授。</p> <p>現在、国土交通省社会資本整備審議会道路分科会委員、北海道防災会議地震専門委員会委員などを務める。専門は土木計画学。</p>
<p>講演の概要： コロナ禍以降の世界は、大きく時代が動き人々の価値観が変わってきている。わが国のインフラ整備でもマネジメントの重要性が切迫感をもって議論されている。我々は目の前の問題解決に追われ、長期的視点を忘れていないか。インフラに対する国民ニーズは、わが国の国土や地域が本来有してきた風土、伝統、文化から生成される良さ、美しさを取り戻すことを求めている。北海道の人口が疎な生産空間においては、誇りと希望が持てる未来へのインフラビジョンとその実施が切望されている。</p>	